

【南中祭を終えて】仲間と共に限界突破！

第50回南中祭文化の部(展示・表現)が、9月12日(木)13日(金)に行われました。残暑が厳しい中、ご来場くださった保護者の皆様、ありがとうございます。また、会場の座席数の関係で、学年ごとの入れ替えにもご理解ご協力をいただき感謝いたします。

文化祭の様子については、近々、限定配信を予定しております。今しばらくお待ちください。

令和6年度の南中祭のテーマは「舞い踊れ～舞台に花を咲かせよう～」でしたが、その言葉通り、一人一人が躍動して、見事に花を咲かせました。どの演技もすばらしく、よく工夫されていて、たくさんの感動がありました。

来賓として観てくださった学校運営協議会の中山会長、瀬畑副会長からも、生徒たちの頑張りや表現力を讃えるお言葉をいただきました。

また、企画運営や会場設営に携わってくれた生徒会役員、学級委員、各部活動の生徒、担当する先生方に心から感謝します。見えないところでの活躍や努力があってこそ、全ての活動が順調に進行し、感動や成功を感じることができました。

体育館1階の展示の部についても、内容の濃い、レベルの高い作品ばかりで大変見応えがありました。総合学習で学んだSDGsや沖縄について、わかりやすく丁寧にまとめていました。また自由研究や各家庭で取り組んだ創作料理、家庭科、美術、書道の作品、エコキャップの作品など、どれも時間をかけて丁寧に仕上げた様子が伝わってくる素晴らしい作品でした。

生徒たちは、作品づくりにおいて、ご家庭で撮影などの協力をいただいたことや展示を通して、これまでの学びや自分たちの思いを保護者の皆さまに伝えられたことに、喜びを感じたと思います。

生徒たちの頑張る姿を見て、今年度の学校スローガンである『凡事徹底、仲間と共に切磋琢磨し限界突破』を今後も期待できる生徒たちであると改めて感じました。微力ではありますが、私たち南部中教職員も、日々の教育活動がより充実するように連携・強化を図って参ります。

文化祭を終えて学校は今年度の後半に入ります。生徒たちには、集会等で『自分が中学校生活のどの位置にいるかを意識して、目標設定をして、日々努力することが大切である』ことを話しています。3年生はいよいよ進路決定のために集中して力をつけていく時期になりました。2年生と1年生はそれぞれ3年生から受け継いだ生徒会や部活動、委員会活動等をさらに良いものへと進化させることが求められます。これから活躍が楽しみな南中生です。

最後に、保護者の皆様からのあたたかい見守りやサポート、また時には厳しく導いていただいていることが、生徒たちが成長する上で大きな支えとなっています。中学生は多感な時期で感謝の気持ちを素直に伝えられないかもしれませんが、保護者の皆さまからの愛情は必ず伝わっています。今年の南中祭は、そんなつながりや絆を感じる文化祭でした。今後も一人ひとりの生徒が、それぞれの舞台で花を咲かせるように見守りや激励をいただけたらと思います。どうぞよろしくお願ひします。

令和6年9月24日

徳島市南部中学校長 滝川 尚